

# 佐呂間町 開拓資料館



# 生活用具



名 称 焼きコテ  
使用年代 昭和初期～昭和40年代頃  
用 途 着物のヘラ付け（裁断した布に印をつけること）や衣類のしわ伸ばしなどに使用。



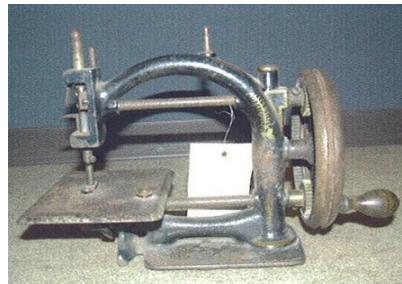
名 称 小物タンス  
使用年代 明治初期～昭和40年代  
用 途 書類など小物を収納。  
室内の中で生活するのに衣料品よりも細々した必需品を入れておく。



名 称 アイロン  
使用年代 昭和初期～昭和30年代頃  
用 途 灰火で暖めて使用。中に灰火を入れて布地や衣服のしわを伸ばすもの。



名 称 竹笥  
使用年代 昭和40年頃  
用 途 衣類を入れる物。桐製の物が昔は高級品であった。



名 称 手廻しミシン  
使用年代 大正初期～昭和初期  
用 途 ハンドルを手で廻して衣料品を作ったり補修をしたりする。



名 称 柳行李  
使用年代 大正末期～昭和30年代頃  
用 途 着物入れ。普段使わない衣料品や家財道具などをしまっておく入れ物。



名 称 羽釜  
使用年代 大正末期～昭和40年代  
用 途 主としてご飯を炊くことに使用したが餅を作るとき、この上にせいいろ（せいろう）をのせて餅米を入れて蒸した。



名 称 蒸し釜  
使用年代 昭和5年～昭和20年代頃  
用 途 ご飯を炊き、又蒸すのに使用。冷めたご飯を暖める。



名 称 ハンドル電話機  
使用年代 昭和30年代  
用 途 ダイヤル式以前の物。  
最初に交換台が出て番号を告げてつないでもらう。



名 称 パン焼き器  
使用年代 昭和20年代  
用 途 戦後米不足のため、代用食として配給された小麦粉でパンを家庭で作った。



名 称 ゼンマイ式蓄音機  
使用年代 昭和初期～昭和30年代  
用 途 手廻してネジを締めて動力にしたので、速さがなかなか一定にならず遅くなったら急いでネジを巻いた。



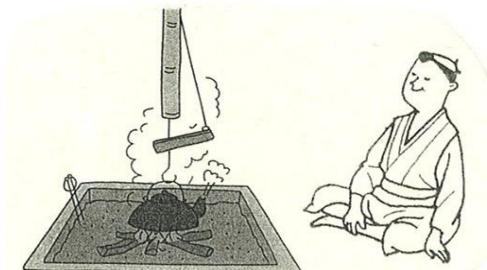
名 称 鉢びん  
使用年代 大正末期  
用 途 お湯を沸かす道具。

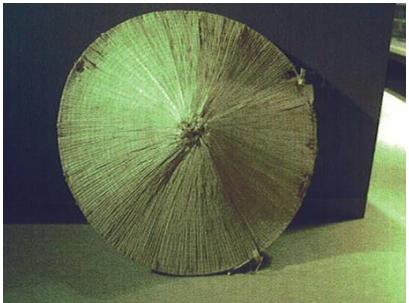


名 称 ラジオスピーカー  
使用年代 昭和21年～昭和40年頃  
用 途 第二次世界大戦後、ラジオ共同聴取が全戸に普及したとき使用した物。

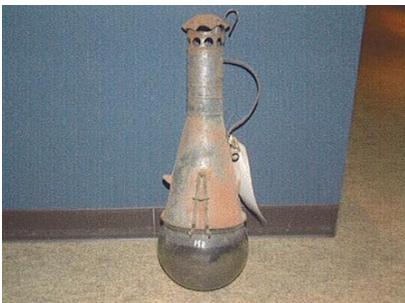


名 称 茶碗かご  
使用年代 昭和30年頃  
用 途 日常の食生活をするための食器をしまうかご。





名 称 すげ笠  
使用年代 大正末期～昭和10年頃  
用 途 すげの葉を編んで作った頭にかぶる物。真夏の晴天時は白よけにし、雨降りは雨除けにした。



名 称 下向きランプ  
使用年代 昭和10年代  
用 途 手提げ式のランプ。灯火源は石油で室内の明かりのために使った。



名 称 みの  
使用年代 昭和10年代～昭和30年頃  
用 途 稲わらなどの植物を編んで作られた昔の雨具。雨雪の中での仕事や歩くとき身につけて雨雪を避けた。



名 称 石油ランプ  
使用年代 昭和30年代  
用 途 屋内の夜間の灯火用の道具。燃料は石油。



名 称 かんじき（雪輪）  
使用年代 昭和20年代～現代  
用 途 積雪の中を歩くために使う。雪の上を歩くときぬからないために、わらじや靴の下につける。



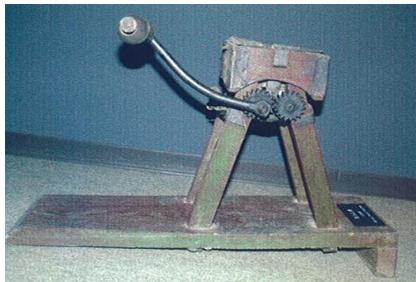
名 称 コタツ  
使用年代 大正末期～昭和40年頃  
用 途 下に炭火を置き布団を掛けで暖房に利用。



名 称 わらじ  
使用年代 明治末期～昭和初期  
用 途 稲わらで作られる伝統的な履物。現代の靴と同じ



名 称 アンカ  
使用年代 昭和初期～昭和40年代頃  
用 途 炭火を入れ灰等で埋め、長持ちさせるようにしたコタツの一種。コタツの中に入れて布団をかぶせて暖をとる。



名 称 麦つぶし機  
使用年代 大正末期  
用 途 麦をつぶして味を良くする  
為に使用。つぶさないものを平麦という。



名 称 紡毛ハサミ  
使用年代 昭和20年代頃  
用 途 綿羊の毛刈り用。



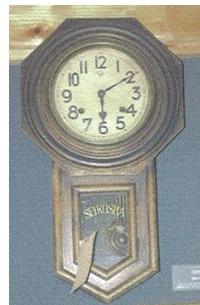
名 称 菓子型  
使用年代 昭和初期～昭和30年代頃  
用 途 米の粉でラクガムという菓子製造に使用。おもにお祝い  
用の型である。



名 称 水力メ  
使用年代 昭和40年代  
用 途 水道のない頃、家庭用の水を  
くみ溜めておくのに使用。  
主として流しの所に置いた。



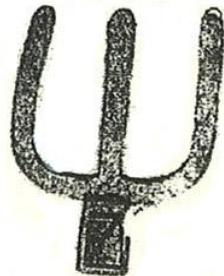
名 称 飴箪  
使用年代 大正初期  
用 途 酒や液体を入れる入れ物と  
飾り物とがある。



名 称 柱時計  
使用年代 明治末期～昭和40年頃  
用 途 ぜんまい仕掛けで、8と4  
の数字のところにネジをか  
ける穴があり、そこでネジ  
をかけて動かし時間を見る。



# 農具



名 称 千齒  
使用年代 昭和10年頃  
用 途 クシ歯の様なところに乾燥した作物やイネ科(禾本科類)をたたきつけて引くと実がはずれる。



名 称 三本鋤  
使用年代 大正末期～昭和30年頃  
用 途 石の多い畑や芋掘りに使用。



名 称 水田株間除草機  
使用年代 昭和30年～昭和50年頃  
用 途 水田の稻と稻の間を押して小さな草などをひっくり返して取る機械。



名 称 手櫓  
使用年代 昭和30年代～昭和40年頃  
用 途 馬櫓の小型の物で人力用。



名 称 ハッカ除草鎌  
使用年代 昭和初期～昭和20年代頃  
用 途 鎌の使い古しを使用し、畑によつんばいになって草を取った。



名 称 唐箕  
使用年代 昭和30年～昭和50年頃  
用 途 雜穀、豆類などの選別に使用。

# その他



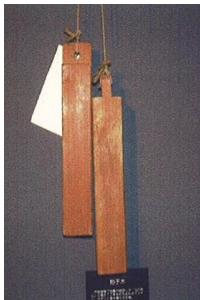
名 称 手回しサイレン  
使用年代 昭和10年代  
用 途 消防用のサイレン。



名 称 ピストル  
使用年代 大正15年頃  
用 途 運動会用



名 称 卓上マイク  
使用年代 昭和20年代  
用 途 有線放送用。戦後村内連絡用にと役場・農協・部落会長・農事組合長宅に本機が施設され各戸に連絡とラジオ放送をした。



名 称 火防拍子木  
使用年代 大正初期  
用 途 火災予防のため、巡回のときに使用。



名 称 消防車用リン  
使用年代 昭和20年代  
用 途 火災の時サイレンがつく前に使用した物。



名 称 火防メガホン  
使用年代 大正初期  
用 途 火災予防巡回のときに使用



名 称 手廻し計算機  
使用年代 大正後期～昭和30年代  
用 途 手回し式の卓上計算機

